

主催者（九州障がい者水泳連盟（以下、「KSFD」という。））からの連絡事項

■ 本記録会は、大分県マスターズ水泳協会と合同開催で実施されます。

以下の連絡事項は、パラ選手のみに該当するものであり、マスターズ水泳協会が発表している内容も合わせてご確認を宜しくお願い致します。

1. 受付

選手1名ずつ受付をお済ませください。

プログラムに記載されている事項を確認し、誤りがあった際は、リゾリキュションデスクへ所定の様式で提出してください。種目については、集計ミスの場合は変更いたしますが、個人の希望による変更は受付しません。

知的選手は、JPSF 競技参加会員申込書の原本をご提出ください。忘れた場合は、その日にご記入いただきます。

本年度はプログラムの無料配布はございません。追加で購入希望者は、マスターズ受付にお尋ねください。

2. テクニカルミーティング

9：00～エントランスホール（階段下付近）にて行います。

パラを代表して、事務局が出席します。必要な連絡事項は館内を巡回して随時お声掛けしますが、可能な限り各チーム責任者は参加いただけるようにお願いします。

3. 競技方法

(1) 世界パラ水泳連盟競技規則 及び (一社) 日本パラ水泳連盟競技運営指針 競泳規則 に則り行う。
ただし、オープン参加者は上記規則等に準じて行う。

(2) マスターズ選手と合同レースで実施する競技があります。スタートリストの表示内容をよく確認し、招集を受けるようにしてください。

(3) 本記録会はオーバーザトップ形式で行われます。

25m種目と背泳ぎを除き、ゴール後はレーンロープにつかまり水中で待機し、次の組がスタートしてから退水します。25m種目は次の組がスタートしていますので、速やかに退水します。1～4レーンの泳者は1レーン側、5～8レーンの泳者は8レーン側へ移動して退水してください。競技役員から指示のあった場合は、その指示に従ってください。なお、水中での待機に不安がある方、水中スタート等で待機者がいると危険が及ぶ場合は、事前にお申し出ください。(リゾリキュションデスク)

(4) 聴覚障がいの選手のスタートは、光刺激性スタートシステムを使用する予定です。システムの不具合等生じた場合は、ハンドルシグナルとフラッシュライトにより行う。

4. ウォーミングアップ・公式スタート練習

大会期間中は、定められた時間でウォーミングアップが可能です。

ウォーミングアップについては、下記一覧ならびに注意事項を参照してください。

※ウォーミングアップ時は以下の専用レーンを設置しています。

| ウォーミングアップ | 公式スタート練習 | |
|--------------------|-----------------------------|----------------------------|
| メインプール | 1レーン～6レーン | 7～8レーン |
| 8：10～9：30 昼休み時間 | 8：50～9：20 1レーンは、水中スタート優先 | 7レーン：フリーレーン 8レーン：ダウンレーン |

8：10～8：50 2レーン パラ優先レーン

8：20～8：50 1レーン ダッシュレーン（スタート側より一方通行）

9：20～9：30 全レーン ダウンコース

※公式スタート練習の指定レーン変更の場合は、当日通告より発表します。

なお、公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。

5. 招集

- (1) 招集所は、プール入口となります。
- (2) 招集所では、水着の確認を受け、指示に従い並びます。また、CoE に A, T, Y が付与されている方は必要に応じて介助者の入場ができます。付与されておらず、介助等が必要な方は競技 1 時間前までに所定の様式でリゾリューションデスクにて申請を行ってください。
- (3) 招集所へは、自分の出場する種目、組の 5 レース前まで、25m 種目は 6 レース前までにお越しください。招集に遅れないように注意してください。
※ 最初の種目の招集は、開会式が終了次第開始します。

6. スタート・プールからの退水方法

<スタート>

- (1) 競技役員の指示により、入場し自レーンの椅子に着席してください。
- (2) 脱衣かごを用意していますが、回収・移動はないので、退水後は各自で取りに来てください。車いす、義足、杖などを使用する選手で介助者が居ない場合は、スタート後に係員がプールサイドへ移動いたします。
- (3) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。
- (4) プールサイドから入水する方は、コール（通告における選手紹介）を受けたら、速やかにプールサイドに移動して待機してください。
- (5) オーバーザトップで行いますので、スタート時に前組の泳者が水中で待機しています。水中スタートや台横からのスタート等でスタートの準備等に支障があると思われる方はレース 30 分前までにリゾリューションデスクで申告してください。

<プールからの退水方法>

- (1) 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。
- (2) 25m 種目と背泳ぎを除き、ゴール後はレーンロープにつかまり水中で待機し、次の組がスタートしてから退水します。25m 種目は次の組がスタートしていますので、速やかに退水します。
- (3) 1～4レーンの泳者は1レーン側、5～8レーンの泳者は8レーン側へ移動して退水してください。競技役員から指示のあった場合は、その指示に従ってください。
- (4) 水中待機に不安のある方は、レース 30 分前までにリゾリューションデスクで申告してください。

7. 選抜リレー種目

- (1) 事前に連絡があった選手、泳順で出場します。
- (2) 変更が必要となる場合は、リゾリューションデスク経由で総務へ連絡をお願いします。変更の手続きは、総務で行います。
- (3) 招集所へは、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることができません。

8. 表彰・記録

- (1) 完泳した選手、チーム（失格者除く）に記録証を発行する。記録証は、1人1枚に全種目分を記載したものを、全競技終了後に受付付近に受取所を設置し発行するため、準備が出来るまで待機しておくこと。なお、都合により受取ができない方は、レターパック（ライト）（10/1 料金改定価格 430 円）を料金もって、リゾリューションデスクで手続きをしてください。
- (2) 公認記録の取り扱いについて
（一社）日本パラ水泳連盟（以下、「JPSF」という）登録選手は、JPSF の公認記録となります。
（一社）日本知的障害者水泳連盟（以下、「JSFP」という）登録選手は、JSFP の公認記録となります。
- (3) 2024 年度日本パラ水泳地域等記録会連携型通信総合記録会（以下「通信記録会」という。）対象参加者かつ対象種目の方は、通信記録会のランキングに反映されます。詳細は、JPSF のホームページ内で確認ください。表彰対象者は、第 41 回日本パラ水泳選手権（11/9-10：滋賀県）にて表彰が行われる予定です。

また、味の素株式会社 様よりアミノバイタルを、株式会社ゴールドウィン 様よりセームタオル(speedo) をご協賛いただいております。主催者 (KSPD) の独自の選考により表彰を行います。No. 20 25mバタフライ終了後にプールサイドにて発表と表彰式を行いますので、選手の皆様はプールサイドに速やかにお越しください。(ご不在の場合は、繰り上げて授与する場合があります)

9. 抗議等

- (1) 競技開始前に判明した事項は、出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。
- (2) 競技終了後の抗議は、公式結果公表後 30 分以内に所定の様式（抗議用紙）に必要事項を記入の上、抗議料 10,000 円（現金のみ）を添えて、リゾリレーションデスクに提出すること。（失格の理由を聞くことは講義ではない。）講義が認められた場合、抗議料は返金される。講義が却下された場合、抗議料は KSPD の所有となる。
- (3) 本記録会では、上訴審判団は設置しないが、抗議の判定による上訴が可能であり、判定後 30 分以内に所定の様式（上訴用紙）に上訴料 20,000 円（現金のみ）を添えて、リゾリレーションデスクに提出すること。大会総務により、上訴が却下された場合は、上訴料は KSPD の所有となる。上訴が認められた場合は、抗議と上訴料両方返金される。
- (4) 抗議用紙、上訴用紙は、リゾリレーションデスクに備え付けている。
- (5) 公式掲示は、速報版に掲示された時刻をもって公式掲示とする。

10. 水着・所属表示等について

- (1) 本大会の水着に関する規程は、世界水泳連盟及び WPS の競技規則による。障害上など着用の問題がある場合は申し出ることで例外的に認めることがある。該当レースの 1 時間前までに「規定外の水着使用申請書」をリゾリレーションデスクに提出し、判断を仰ぐこと。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。
 - (2) 水着のチェックは招集所で行う。
 - (3) 規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、すべて参考記録扱いとし、記録証の発行は行わない。
 - (4) 着用できる水着は 1 枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。
 - (5) 水着へのテーピングおよび 2 次加工は禁止する。
 - (6) 障がい上の理由で公認マークのついていない加工された水着または公認マーク剥離の水着を着用する場合は、事前にリゾリレーションデスクに届け出て、許可を受けなければならない。
 - (7) 競技エリアで着用するユニフォーム等の表示は、介助者、スタッフを含め、次のもの以外は認められない。
 - ① 自分の氏名、所属の名称やマーク
 - ② 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク
 - ③ 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの
 - ④ 水着、ウェア等のメーカーロゴ・マーク
- ※それぞれの大きさと数については、【表】のとおりとする。

- (8) 選抜リレー出場時は、個人種目出場時の規定で対応する。

【表】

| マークの種類/用途 | 水着についてよい大きさと数 | ウェアについてよい大きさと数 | その他のものについてよい大きさと数 |
|--|--|--|--|
| 自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公認競技会のマークや主催者が認めたもの | 50 cm ² 以内で1か所 | 大きさ、数に制限なし | 大きさ、数に制限なし |
| メーカーのロゴ・マーク | メーカーロゴまたはマークは30 cm ² 以内で1か所 | メーカーロゴは40 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし | メーカーロゴは20 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし |

※1 それぞれの大きさ(サイズ)は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

1 1. 申請等

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方はリゾリレーションデスクへ申請または手続きを行ってください。

- | | |
|--------------------|--|
| ① プログラム記載内容に誤りがある方 | 9:00まで |
| ② 棄権届 | 競技1時間前まで |
| ③ テーピング等申請書 | 競技1時間前まで |
| ④ 規定外水着使用許可申請 | 競技1時間前まで |
| ⑤ 介助者等競技エリア内入場申請書 | 競技1時間前まで |
| ⑥ 抗議書 | 公式結果公表後30分後までに抗議料を添えてリゾリレーションデスクに提出すること。 |
| ⑦ 上訴用紙 | 抗議判定後後30分後までに上訴料を添えてリゾリレーションデスクに提出すること。 |

1 2. その他

- ・身障用更衣室は1部屋あり、ロッカーは複数人分あります。
自動ドアに鍵がかからないので、出入りはプールサイド側のみとし、入り口に「空室」「使用中」の札を準備しておきますので、利用状況に合わせて表示の変更を宜しくお願い致します。
- ・駐車場に限りがあります。大分県立大分商業高校の利用もできますので、選手を降車させ保護者等が移動するなど、御協力を宜しくお願い致します。
- ・撮影許可証は、マスターズ水泳協会受付で対応いたします。
- ・忘れ物は、KSPD またはマスターズ水泳協会が2週間保管した後、処分する。忘れ物の問い合わせは、KSPD 事務局にメールでゴーグル、水着などの種類と、黒、青のような色や特徴を一緒に連絡してください。選手が指定する住所に、ゆうパック（着払い）で送付します。